

おほねがわりゅういき 5. 尾羽根川流域



この地域は、成田市の中央部に位置する尾羽根川のほぼ全流域を含んでいます。尾羽根川沿いは水田が細長く広がり、その両側に丘陵地が接する谷津田が特徴的です。丘陵地は樹林地や畑地、ゴルフ場として利用されており、緑豊かな地域となっています。尾羽根川の水辺には、チガヤやメヒシバなどが生育して路傍雑草群落を形成しているほか、水田周辺には水田雑草群落、丘陵地にはスギ・

ヒノキ植林や落葉樹の群落が分布しています。

水辺が丘陵地に接した環境であり、樹林地に接した水辺を好むトンボやチョウの仲間が多く生息しています。また、水田で鳴いているシュレーゲルアオガエルもよく見られます。草地を餌場などに利用する、サギやカモの仲間、ホオジロの仲間などの鳥類が多く見られます。樹林地ではコゲラやシジュウカラなどが群れで移動している姿を見ることができます。畑地や畦ではモグラ塚も見られます。



湧水が多い



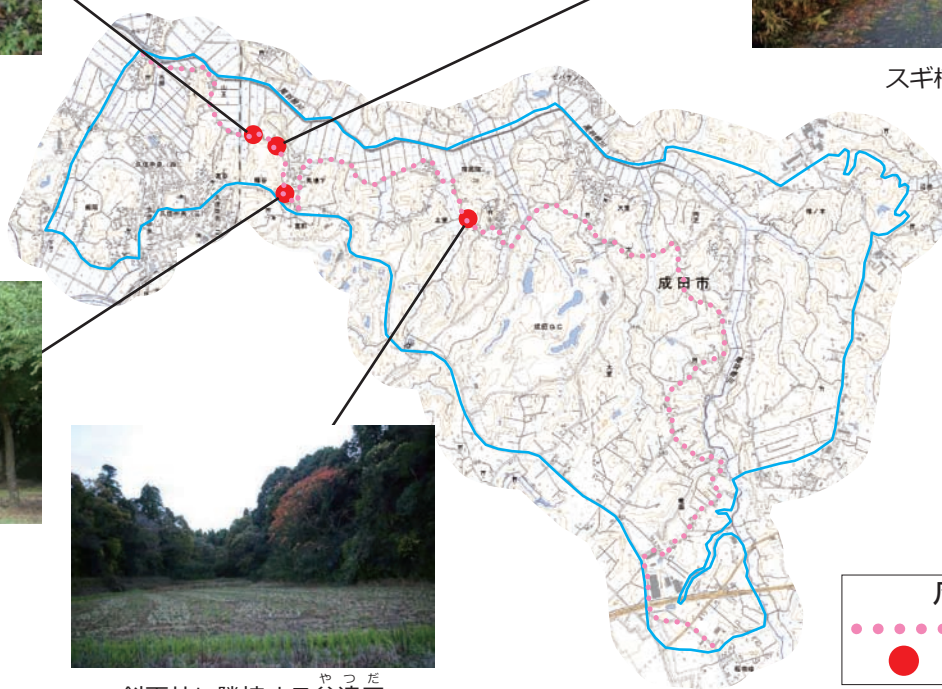
スギ植林



香取神社

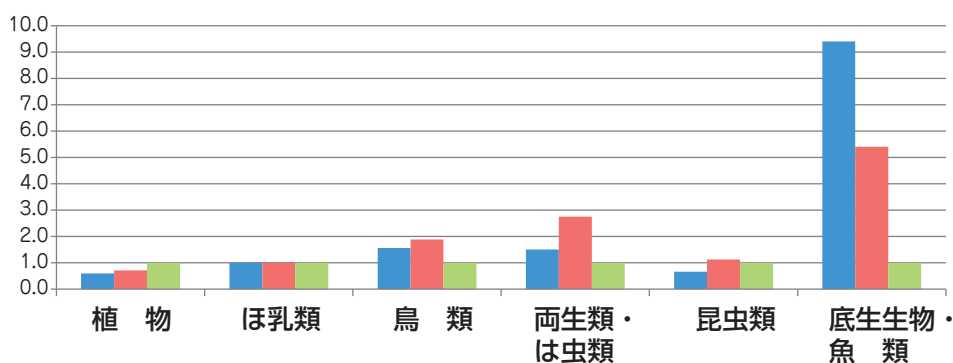


斜面林に隣接する谷津田



この地図は、国土地理院の電子地図25000『成田』、『成田空港』、『下総滑川』、『佐原西部』を使用したものである。

確認種の推移



第1次調査 第3次調査時の確認種数を1.0とする。
第2次調査
第3次調査

第1次調査：平成5・6年度に水辺調査、平成7・8年度に陸域調査

第2次調査：平成14年度に水辺調査、平成15年度に陸域調査

第3次調査：平成26・27年度に動植物生息調査